

第4期 中部WIN 成果報告会レポート

開催日時: 令和3年12月2日(木) 13:30~16:30

● 講話

ダイバーシティ経営戦略

西岡 慶子 / 株式会社光機械製作所 代表取締役社長



日本企業の課題、取り巻く環境

日本企業の課題

- 収益性が低い
- 生産性が低い
- 労働人口の減少
- 人材不足(多様性・理系)

世界での日本企業の存在感の低下
イノベーション創出が遅れている

さまざまな指標...

- ・日本企業の2/3が赤字企業
- ・ROE、ROAが日本は低位
- ・1970年代以降労働生産性 G7最下位
- ・各産業で女性比率が低い
- ・2030年にはIT人材が 79万人不足
- ・世界時価総額ランキング 50位圏内32社→1社へ激減
- ・企業寿命が短命化

企業経営のキーワード

VUCAの時代

V: Volatility (変動性)
U: Uncertainty (不確実性)
C: Complexity (複雑性)
A: Ambiguity (曖昧性)

+

COVID-19

Great Reset

- ☐ 多様性(人材・働き方)
- ☐ 持続可能性(ESG、SDGs)
- ☐ デジタル化(AI、ビッグデータ、DX)
- ☐ 気候変動(TCFD、カーボンニュートラル)

イノベーションとダイバーシティ

47%の仕事がコンピュータ化される時代

想像 発想 構想

想 + Diversity がイノベーションに有効

Key Word

オープンな連携・社会課題の解決・技術革新

イノベーションを阻むもの？

日本は企業も少子高齢化？

「イノベーションのジレンマ」
欧米: 新しい企業が次々と...
日本: 新しい企業が生まれにくい

間違ったダイバーシティ

× 混合・混色 混じり合わない
○ 化合・配色 みんな生かされる

社員の低いエンゲージメント

熱意ある6% やる気なし71% 不満23%
日本は調査対象139ヶ国中132位

幸福度とイノベーションの関係

・低い欠勤率・離職率
・高い創造性と売上への貢献

職場の幸福度を高めるために

みる(見・観・看)
きく(聞・聴・訊)
話す(対話)
+
公正さ、挨拶



経験から学んだこと

学んだこと・気づいたこと

秘書通訳@米国企業時代
米国企業の仕事の進め方
多様性
(日本のことを知らない!)

会議・商談通訳時代
論理的展開、交渉
経営者、プロフェッショナル
(世界の歴史や文化について知らない!)

工作機械メーカーの経営者
モノカルチャーのほころび
違いを価値に...
適材適所、多様性、人材教育、公正...
(大きな困難を乗り越えて...)

光機械製作所の基本理念 Be professional! 「プロ意識に徹する」

- ・「なるほど!」と言われるアイデア、技術、感性
- ・社員の幸せ、お客様のよこび、社会への貢献

人材方針3Gsダイバーシティ

Gender Free Generation Free Global + Gakureki Free (学歴)

自ら学ぶ機会をつくる

- ・働き方の変化: 兼業・副業・テレワーク
- ・人生観の変化(人生100年時代): 住居地・時間の使い方、仕事
- ・技術革新: リカレント教育

贈る言葉「盲亀浮木」

人として生を受けることは稀有で貴重なことのため

自分のため、社会のため、力を発揮して!

●グループワーク成果発表

Aグループ



持続可能な地域循環型
コミュニティ事業

地域内の様々な世代、属性の
ニーズとシーズをマッチングさせ
る。第1弾として、子育て世代の
ニーズである子どもの帰宅時の
面倒見を、高齢者がサポートす
る事業を提案。

Bグループ



女性活躍推進のための
働き方に対する意識改
革のサポート

女性活躍推進のため、学生
の就職活動と企業の採用支
援ウェブサイト／アプリを提
案。

Cグループ



みんな違っていいんだよ。
～みんなが幸せになる
糸口支援プロジェクト～

人材育成の現状を調査し、見
えてきた問題点を動画作成ビ
ジネスで解決するプロジェクト
を提案。

Dグループ



“Chu部 for WE”

自分らしいキャリアを構築で
きるようサポートする研修事
業と、その研修受講生からな
るコミュニティの構築・ネット
ワーク事業を提案。

●講評

田中 学 独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部企業支
援部長と西岡 慶子 株式会社光機械製作所代表取締役社長から、
各グループの成果発表に対する講評をいただきました。着眼点が
素晴らしい等、良かった点へのお褒めの言葉とともに、現存する
サービスとの差別化をもう少し検討した方がよい等、改善点につ
いても言及がありました。



●主催者挨拶・修了式

田中 耕太郎／中部経済産業局長



各グループとも熱心に議論を重ねてこられたことと思う。いただいた講評を糧として、常に学習を重
ねていただきたい。中部WINで習得した知識やネットワークを今後に活かしていただき、次世代の女
性リーダーとして、ご活躍されることを願っている。

目まぐるしく変わる社会情勢の中、企業が成長していくためには女性を始めとする多様な人材の活
躍が必要。中部経済産業局としても、女性活躍の推進や次世代リーダーの育成に努めるとともに、
中部WINの期を超えたネットワークづくりも支援していきたい。

